

GUINNESS WORLD RECORDS



1 1～2年生の全9クラスを54班に編成したおにぎり作り。一クラス平均ノルマ約2千個2できたてのおにぎりをトレイに入れて体育館へ運ぶ生徒3 体育館では3年生がおにぎり作りとパネル並べ作業の双方を担当4 恐竜やロボットが下書きされたパネルにおにぎりを色ごとに並べる生徒。その周囲には世界記録の誕生を伝えようと民放や共同通信など報道機関約10社の取材合戦もヒートアップした5 おにぎりアートを約2時間で完成させ見事ギネス世界記録に認定。ギネスワールドレコード社の担当者から認定書を代表で受けとった生徒会長で3年の藤本修平くん（御船・中）6 ギネスに認定された「おにぎりアート」と一緒に記念撮影する生徒と職員、保護者



御船色で描いた世界一

御船中が**おにぎり**で恐竜アートのギネス挑戦

横11・5メートル、面積52・63平方メートルを記録。従来の記録は、今年10月に新潟県で達成した面積29・16平方メートルを大幅に上回りました。会場で挑戦に立ち会ったギネスワールドレコード社の担当者が慎重に絵を確認。そしてギネス認定が公表されると、生徒や保護者などから歓声が沸き起こりました。加藤敬之校長は、「ギネスもいろいろありますが、一つで一番になることは自信になります」と満面の笑みでコメント。挑戦に使用した、おにぎりは生徒たちが数十個ずつ持ち帰り、記録とお腹を同時に満たした挑戦となりました。

御船中学校（加藤敬之校長、496人）は11月17日、おにぎり約2万個で恐竜やロボットを描く「おにぎりアート」に挑戦し、ギネス世界記録に認定されました。主催は、一般社団法人「自然と健康を守る会」（熊本市）。県産の新米約830キロが提供され、企画が実現したものです。張り詰めた緊張のなか、午後2時に挑戦がスタート。生徒たちは、おにぎり作りとパネル並べの作業をグループで分担します。1・2年は教室で、おにぎりを黄や緑の食紅で6色に色づけ、トレイに入れて体育館へと移動。おにぎりを受けた3年生がパネルへと並べる作業を繰り返すこと約2時間、おにぎりのモザイク画が完成しました。完成した絵は、縦4・5メートル、

